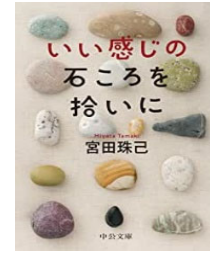


## 詩・和歌・俳句・川柳 その712

- ☆線路に生えし草花消え久し (除草剤…JR・小田急藤沢駅線路間)  
 ☆磯の石文鎮にみかこと奮闘 (葉山御用邸の浜で拾う黒石を)  
 ☆洋子マリのイタリアみかこのブリット (フレイディみかこ/Brit)  
 ☆めくれどもめくれども吾が指老いる (油っ気が抜け本を捲れず)  
 ☆濃ひチョコ齧りローマの休日 (妻のローマ土産)



植魚  
 植魚  
 植魚  
 植魚  
 植魚

## 詩・和歌・俳句・川柳 その713

- ☆突然迫る不二 顔包む冷たさ (11/30朝 藤沢駅)  
 ☆六十年前の十五の春 (12/1 新宿 高校クラス会)  
 ☆生徒の目、手、日に日に真剣を打つ (12月 教室)  
 ☆試験の場で闘ふは君独り (同上)  
 ☆大勢の中今と同じ力出せ (同上)



植魚  
 植魚  
 植魚  
 植魚  
 植魚

## 詩・和歌・俳句・川柳 その714

- ☆急停車見慣れぬススキ瓢瓢 (12/7朝 緊急停車北鎌倉トンネル前)  
 ☆かたひらのみの桜貝拾ふ逗子の浜 (12/8遠足 逗子)  
 ☆ブリのカマ煮定食めしやっちゃん (同上 小坪)  
 ☆桜貝の碑逗子と鎌倉にも建つ (同上 由比ガ浜)  
 ☆夕陽止めてくれと駆ける子どもらと (同上 片瀬江ノ島)



植魚  
 植魚  
 植魚  
 植魚  
 植魚